

小学生の頃に、近所の公園でボランティア活動に参加した記憶が、今でも鮮明に残っていると話してくれた杉本さん。

自宅のそば―誰もが利用する憩いの場所に、空き缶やたばこの吸い殻がみだりに捨てられている光景が広がっていました。

環境保全に関わる知識もない自分が、ごみ拾いを進めながら、漠然と「環境を守らなくては」という思いに駆られた経験。幼少期の貴重な経験が、今の業務に生かされているようです。

子どもながらに感じた
環境を守る大切さ



環境衛生課 東部環境係

ともや
技能員 杉本 智哉さん (横町)

皆さんからの「声」が
日々の活力に

ごみを搬入される皆さんから届けられる「ありがとう」「がんばってね」という何気ない一声。その一声が、業務に前向きに取り組みきつかけを与え、疲労を感じても背中を押してくれる。たとえ短時間であっても、皆さんとの出会いに感謝しています。

家電リサイクル法の

対象製品にご注意を

重いものを苦勞して自己搬入し



写真④

自己搬入のごみを受け入れるほか、施設管理にも従事。各機器に定期的なメンテナンスを施す

写真⑥

ごみ焼却炉をはじめ、施設内各設備の稼働状況を監視



クリーンセンターを

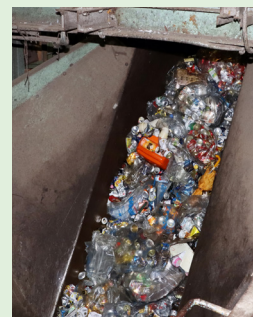
より身近な存在に

でも、クリーンセンターでは処理できないごみがあります。それは、エアコンやテレビ、冷蔵庫、洗濯機など、家電リサイクル法の対象製品。

対象製品の処分を検討されている方は、製品を購入した店舗に引き取りを依頼するなど、もう一度処分の方法を確認しましょう。

をかけることなくごみを処理する技術を、世代を問わず多くの方に伝えたいと杉本さんは意欲を見せます。

より身近な存在として認知されることで、環境保全の輪も広がっていく。地域に貢献する大きな夢を描きながら、今日も業務に動んでいます。



不燃ごみ



びん類 (茶)



紙製容器包装



可燃ごみ

南会津地方環境衛生組合は、南会津・下郷・只見の3町で構成され、ごみ処理やし尿処理、火葬業務を担う組織です。

ごみ処理に着目すると、田島・下郷エリアを管轄する東部クリーンセンターと、館岩・伊南・南郷・只見エリアを管轄する西部クリーンセンターとの2施設が稼働しています。

今回邪魔したのは、東部クリーンセンター。会津若松・下郷方面に車を走らせているとき、遠目ながら、誰もが目にしたことがある施設です。

ごみ処理場と聞くと、ベテラン職員が仕事をこなすイメージを抱く方も多いのでは。しかし、実際はベテラン職員の陰に隠れることなく、多くの若手職員が奮闘中。同世代の仲間たちと切磋琢磨しながら、ごみ処理に向き合う皆さんをご紹介します。

東部クリーンセンターの煙突から立ち上る白煙をご覧になった方も多いはず。実は、白煙の正体は**水蒸気**。

ごみの焼却によって発生する有毒物質や燃えかすは、専用のフィルタを通して、**微細な粒子まで完全に除去されています**。周辺環境に負荷をかけず、文字どおりクリーンなごみ処理が行われています。



ごみ処理に向き合う ―

環境を守る要として

目の前に広がる
複雑で未知の世界

エンジニアとして働いていた経歴を持つ渡部さん。機械操作やシステム管理などの知識が豊富であるはずの彼を待ち受けていたものは、圧倒される毎日。

見渡せば、初めて見る機械設備ばかりで、操作方法も複雑。可燃ごみの焼却システムや、公害防止の仕組みなど、覚えようにも時間が足りない。

それでも、彼を突き動かしたのは、地元就職を果たしたという実感。生まれ育った地域に関われる喜びを感じていました。

豊かな自然を守り
人口減少を乗り切る

南会津町の魅力―一番に思い浮かぶものは豊かな自然。貴重な湿原やそこに生き抜く動植物など、自然環境をどうやって守りぬいていくべきか、視線はすでに未来へ向けられています。

また、急速な人口減少が進む中で、環境衛生組合の職員として、時代に沿ったごみの処分方法も検討しなければなりません。

将来を担う世代に過度の負担がかからないよう持続可能な体制を構築したいと熱意を語ってくれました。



環境衛生課 東部環境係

技能員 渡部 一慶さん (羽塩)



環境衛生課 東部環境係

技能員 星 陽喜さん (藤生)

きつい仕事にも

あえて挑戦する

皆さんはごみ処理に対し、どのようなイメージを抱いていますか。以前は「きつい・忙しい・汚れる」など、自分自身も後ろ向きなイメージを抱いていたと振り返る星さん。

しかし、ごみ処理に従事することは、町全体に関わること。いかに業務が大変でも、人の役に立つことを、これ以上体現できる職場はほかにない。「挑戦してみよう」と決心します。

やりがいのある職場の一員となり、3年目を迎えました。

持続可能な環境を

協働で作り上げたい

全世界でSDGs（持続可能な開発目標）に基づく、取り組みが進められています。環境保全に関わる内容も多く、どう対応すべきか不安と焦りを覚えたそう。

まずは、地域住民の皆さんと職員との協働により、少しずつ取り組みを進めたいと前を向きます。

感染症の防止に

細心の注意を払う

新型コロナウイルス感染症対策

「ごみは大切な資源」
認識を変えたい

「ごみ」だからといって、何でもかんでも捨てればいいというわけではありません。「ごみは大切な資源」であることを伝えたい。

着実な分別により、適切な処分が行われ、リサイクルにつながる。限りある資源を有効に活用することが、環境保全にもつながります。

「ごみの分別辞典」を
ご存じですか

南会津地方環境衛生組合が発行

には、細心の注意を払わなければなりません。ちり紙や空き缶など、毎日処理するごみの中に菌が付着しているかもしれない。

私たちから感染を広げてはならないと、ごみ収集を担う事業者とともに声を掛け合い、緊張感を持って業務にあたっています。

違反ごみシールには

責任ある対応を

ルールが守られず収集できないごみには「違反ごみシール」を貼り付けます。シールが貼られた場合は、必ず自己責任で回収し、処理



写真①

クレーン操作室や粗大ごみ処理施設を管理する中央制御室。異常を知らせるブザーやランプが点灯した場合は、即座に現場と内線をつなぐ



写真②

可燃ごみを燃やす焼却炉が稼働する間は、有毒物質の数値などのチェックが欠かせない

し、全戸配布している「ごみの分別辞典」には、正しいごみの出し方が網羅されています。物置や引き出しの奥深くにしまうのではなく、すぐに取り出せる場所に置きましょう。

町役場本庁舎や各総合支所窓口でも配布していますので、ぜひご活用ください。

してください。着実に処理されたごみは、自己搬入を受け付けます。自己搬入を予定されている方には、当センターが比較的空いている火曜日がオススメ。時間をかけずにスムーズな自己搬入ができるようにと、星さんの心遣いが表れていました。



写真③

ローダーを器用に操作し、粗大ごみ供給コンベアへ。粗大ごみは、順次破砕機へ運ばれ、選別・回収がしやすいよう細かく粉砕される

写真④

ごみの自己搬入を受け入れる上で、限られたスペースは有効に活用。粗大ごみの整理も大切な作業の一つ